

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室別館		
○保護者評価実施期間	2026年2月5日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2026年2月5日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月5日		2026年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設との連携を大切に、児童の状況を共有しながら具体的な助言や支援を行っています。	訪問時には児童の様子を観察するだけでなく、活動の流れや関わり方について具体的な助言を行い、訪問後も記録や報告を通して情報共有を行っています。	訪問先施設のニーズをより丁寧に把握し、実践に活かしやすい助言や支援方法を提案できるよう、専門的知識の習得や研修への参加を継続していきます。
2	保護者様への説明や相談対応を丁寧に行い、安心して利用できる体制づくりに努めています。	支援計画や訪問時の様子について分かりやすく説明することを心がけ、必要に応じて個別の相談に対応しています。また、オフィシャルLINEや報告書を通して児童の様子を具体的に伝えています。	家族面談など、保護者様が相談しやすい環境を維持するとともに、情報提供や相談の機会について、より参加しやすい方法を検討していきます。
3	児童の特性に応じた支援を行うため、職員間での情報共有や振り返りを行っています。	支援後には記録を元に報告書を作成し、適時職員間で振り返りを行い、支援方法や関わり方について検討する機会を設けています。また、必要に応じて支援を見直し、支援計画に反映しています。	研修や事例検討の機会を継続し、職員全体の専門性の向上を図るとともに、より効果的な支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の実施後の振り返りや情報共有について、時間の確保が難しい場合があり、十分な検討が行えないことがあります。	訪問日程や通常業務との調整の中で、振り返りの時間を計画的に確保できていないことが要因であると考えています。	訪問後の振り返りや記録の時間をあらかじめ業務の中に位置付け、短時間でも共有ができる仕組みを整えていきます。また、必要に応じて事例検討の機会を設け、支援の質の向上につなげていきます。
2	訪問支援の役割や支援内容について、訪問先施設によって理解に差が見られる場合があります。	訪問支援の目的や具体的な支援内容について、事前の説明や共有が十分でない場合があることが要因であると考えています。	訪問前の打ち合わせや説明を丁寧に行い、訪問支援の目的や支援方法について共通理解を図っていきます。また、報告書や助言内容についても分かりやすい表現を心がけていきます。
3	保護者様への情報提供や相談機会について、利用者によっては十分に活用されていない場合があります。	相談可能であることの周知や、参加しやすい機会の設定が十分でないことが要因であると考えています。	個別相談が可能であることの案内を継続するとともに、連絡方法や面談の機会について柔軟に対応し、相談しやすい環境づくりを行います。